



大垣市政・経済記者クラブ 同時配布資料

令和3年4月20日(火) 岐阜県発表資料			
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画課学芸係	成瀬・鶴飼	直通 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420

岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画展「物語る戦国合戦—美濃の刀剣—」を開催

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」）では、開館以来初の本格的な企画展「物語る戦国合戦—美濃の刀剣—」を開催します。

合戦とはいかなるものであったのか、また、戦国時代の合戦に使われた刀剣はその後どのように伝えられてきたのか。関ヶ原の戦いから420年を経た現代にまで残る美濃刀や武器に関する古文書等を紹介し、その物語を読み解きます。

記

企画展「物語る戦国合戦—美濃の刀剣—」

1 期間

令和3年4月27日(火)～5月30日(日) ※記念館の休館日は除く

2 開催時間

9時30分～17時00分（入館は16:30まで）

3 会場

記念館2階展示室2及び3（関ヶ原町関ヶ原894-55）

※入館には事前予約及び入館料が必要です。

4 主な展示物

- ・刀 銘：兼元 ^{カネモト} ※関市重要文化財
※「関の孫六」として有名な室町時代の刀工・兼元の刀。関ヶ原の戦いに参戦した武将・細川忠興を始祖とする細川家に伝来したとされる。
- ・刀 銘：兼定 ^{カネサダ}
※室町時代に人気を博した関の刀工・兼定の刀。特に二代目の作は兼元と並び称され、細川忠興、藤堂高虎、武田信玄など名だたる武将が所持した。本作は初代もしくは二代目の作とされる。
- ・短刀 銘：藤原国広 ^{フジワラクニヒロ}
※戦国時代の刀工の第一人者とされる国広の短刀。各地で刀作りをした国広は美濃の刀工とも交流した記録が残る。本作は鎌倉～南北朝時代の有名刀工・来国光の写しで、国広が過去の名品を研究していたことがわかる貴重な一品。
- ・「雑兵物語」1846年（西尾市岩瀬文庫蔵）
※戦国時代の足軽向け合戦指南書。武器武具の扱い方や武将たちの補佐の仕方など、戦闘に慣れていない足軽がどう戦いに関わったかを知ることができる。

ほか計 20点

5 期間中のイベント

ア ギャラリートーク 展示のみどころを学芸員が紹介します。

日 時 令和3年5月13日(木) 14:00～14:30
場 所 2階 展示室2・3
定 員 20名

イ 講演会 「関の刀工について」 講師 ^{エニシ}江西 ^{ナオミ}奈央美氏(関鍛冶伝承館職員)

日 時 令和3年5月15日(土) 13:30～15:00
場 所 3階セミナールーム
定 員 30名

参加費 無料(別途、入館料が必要です。)

申込方法 4月30日(金)までに記念館ホームページからお申込みください。
応募多数の場合は抽選とします。

ウ 図録 企画展の見どころを凝縮した図録を記念館別館にて販売(税込み400円)

6 関連展示

関鍛冶伝承館 「慶長期と美濃刀～他国移住に見る関鍛冶の動向～」

期 間 令和3年4月28日(水)～6月20日(日)
開催時間 9時～16時30分(休館日:火曜日、祝日の翌日)
会 場 関鍛冶伝承館 2階第1展示室
(関市南春日町9-1 TEL:0575-23-3825)
入 館 料 一般300円、高校生250円、小中学生100円

【施設案内】

○当面の間、事前予約制とし、入館者数や入館時間などを制限いたします。

所在地 不破郡関ヶ原町関ヶ原894-55

開館時間 9時30分～17時00分

休館日 毎週月曜日(※月曜日が祝日の場合には、翌平日)
年末年始(12月29日～1月3日)

入館料 一般 500円(団体(20名以上):400円)
大学生・高校生 300円(団体(20名以上):240円)
中学生以下 無料

【岐阜関ヶ原古戦場記念館で行う新型コロナウイルス感染防止対策】

○館内での対策(主なもの)

- ・入口で手指の消毒、検温を実施します。
- ・グラウンドビジョン及びシアターについては、観覧が終了する都度、手摺等の消毒を行います。
- ・多数の方が頻繁に手を触れる箇所について消毒を徹底します。

○来館者へのお願い

- ・体調の悪い方、体温が37.5℃以上の方は入館をご遠慮下さい。
- ・入館の際、「岐阜県感染警戒QRシステム」の登録をお願いします。
- ・館内では、マスクを着用していただきます。
- ・入館、入室にあたっては、お互い1m程度の間隔を保ってください。
- ・多くの方に入館いただくため、2時間以上の滞在はご遠慮ください。
- ・大声での会話はご遠慮ください。
- ・体調不良の際にはお近くのスタッフにお申し出ください。